

第 36 回茨城県診療放射線技師学術大会プログラム

開催日：平成 30 年 3 月 4 日（日）

参加者の皆様へ

1. カードまたは参加登録証（所属と氏名を記入の上）を会期中は必ず着用してください。
未着用の方は、入場をお断りする場合があります。
2. 会場での呼び出しはいたしません。受付の掲示板をご利用ください。
3. 追加発言や質問は簡潔にまとめ、座長の許可を得てから、所属・氏名を述べ発言してください。
4. 会員の方は、出席者名簿に会員番号の記載が必要になります。会員番号をお控えのうえご出席下さい。日放技の生涯学習ポイントが付与されます。
5. 参加費 会員 1, 0 0 0 円
 非会員 3, 0 0 0 円
 学生 無料
 他種医療職 無料

発表者の皆様へ

1. 発表者は、必ず発表前に参加登録を済ませて下さい。
2. 事前にデータをお送りいただいた場合にはこちらで準備した PC による発表とします。それ以外は持ち込みによる発表とします。また発表時投映後の PC 設定も各自で行っていただきます。会場ではミニ D-Sub 15 ピンの画像出力に対応した PC プロジェクターを用意しております。デジタル出力端子のみの PC や Macintosh などは変換コネクタが必要な場合がありますが各自でご準備ください。PC 設定に関するご不明な点は事前に各会場の実行委員(PC プレゼン係)にご相談ください。
3. 発表されるセッションの **30 分前**までに、「座長・演者受付」で受付を済ませ係りの者の指示に従い、正確に再生されるかを確認して下さい。遅れた場合、発表取り消しとなることがあります。
4. 各セッションの最初の発表者はセッション開始 10 分前に、それ以降の発表者は前の演者の発表が始まったら次演者席でお待ち下さい。
5. 発表時間は 7 分間です。その後、質疑応答時間を約 3 分設けてありますが、座長の判断で変更になる場合があります。発表時間は厳守されますようお願いいたします。
6. その他、進行に関しては、座長の指示に従って下さい。

座長の皆様へ

1. 一般演題の発表時間は 7 分です。質疑応答・追加発言に関する時間は 3 分を見込んでいますが、セッションの進行は座長に一任いたします。ただセッション間に余裕時間を設けておりませんので、セッションの終了時間は厳守して下さい。
2. セッション開始のアナウンスも行いません。開始時間になりましたら、座長が司会も含めセッション開始を告げ、開始して下さい。

◎学術展示 9:00～15:00 ロビー

◎受付開始 9:00～

【第1会場】 1F 大講義室

《午前の部》

開会式 (9:30~9:40)

総合司会	(理事 阿部 八千代)
①開会の辞	(副会長 川又 誠)
②実行委員長挨拶	(理事 川村 拓)
③会長挨拶	(会長 長谷川 光昭)

会員・学生研究発表

セッション1 (9:50~10:50)

座長 (薬師寺 一成・五十嵐 亮典)

1. CT-FEM を用いた腰椎強度の予測における CT 値校正の有用性に関する研究
茨城県立医療大学 保健医療学部 放射線技術科 矢代 晴香
2. CTC が有用であった S 状結腸がんの一症例
(株)日立製作所 日立健康管理センタ 放射線科 白井 純一
3. CT における低管電圧撮影時の線量プロファイル
茨城県中央病院 放射線技術科 木村 友亮
4. CT 室における造影剤副作用発生時のシミュレーション
水戸済生会総合病院 放射線技術科 大内 啓之
5. 下肢撮影における Dynamic Visualization II の有用性
筑波大学附属病院 放射線部 渡部 将典
6. 当院における読影補助業務について ~取り組みと現状~
結城病院 放射線科 早川 聖治

学術講演 (11:00~12:00)

司会 (川又 誠)

「3D 医用画像解析の歩みと今後」

富士フイルム (株) R&D 統括本部 メディカルシステム開発センター
榎本 潤 先生

《午後の部》

「医療現場における診療放射線技師の新たな役割~読影補助についての考え方~」

(13:10~14:40)

司会 (鈴木 達也)

- ・「8年の軌跡からみた読影補助の現状と将来展望」
昭和大学大学院保健医療学研究科 加藤 京一 先生
- ・読影補助の実践
 - その1 胸部編
(株)日立製作所 日立総合病院 放射線技術科 岡 裕之 先生
 - その2 腹部編
聖路加国際病院 宇内 大祐 先生

・質疑応答

市民公開講座 (15:00~16:00) ※ 開場 14:45

司会 (長谷川 光昭)

「バスケットボール・車いすバスケットボールにおける傷害と治療」

茨城県立医療大学 医科学センター(茨城ロボッツ チームドクター)

教授 六崎 裕高 先生

閉会式 (16:10~16:20) 閉会の辞 (副会長 鈴木 達也)

【第2会場】 1F 中講義室

《午前の部》

会員・学生研究発表

セッション2 (9:50~10:50)

座長 (長谷川 健・調整中)

1. IVR における水晶体被ばく線量の測定位置の検討
JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 放射線部 大隅 咲季
2. OSL 線量計及び TLD 線量計を用いた IVR 術者の水晶体被ばく線量の実態調査
JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 放射線部 塩ノ谷 将大
3. 散眼の水晶体用個人線量計を用いた被ばく線量調査
(株)日立製作所 ひたちなか総合病院 放射線技術科 富永 大智
4. 心臓カテーテル検査中に発生した停電時の対策
(株)日立製作所 ひたちなか総合病院 放射線技術科 郡司 亮平
5. 超音波ガイド下頸動脈ステント留置術の経験～アンギオ担当者の視点から～
東京医科大学 茨城医療センター 放射線部 高梨 将大
6. 血管撮影装置における拡大率と矩形絞りが透視線量率に及ぼす影響についての検討
茨城県中央病院 放射線技術科 倉田 悟至

セッション3 (11:00~11:40)

座長 (調整中)

1. MRI 撮像の RF パルス形状と画質特性の関係
茨城県立医療大学 保健医療学部 放射線技術科 久代 陸生
2. 金属探知器を使用した MRI 検査前確認の検討
東京医科大学 茨城医療センター 放射線部 峯岸 結希
3. 当センターにおける体表エコーの所見と病理所見の比較検討
東京医科大学 茨城医療センター 放射線部 阿久津奈緒
4. 死亡時画像診断におけるガイドラインと当院の現状
龍ヶ崎済生会病院 放射線部 増田 隼人

ランチオンセミナー（12：10～13：10）

「小児腹部超音波の現状と課題
～超音波検査士は小児診療とどのようにかかわるべきか?～」
講演：茨城県立こども病院 超音波診断室

浅井 宣美 先生

【第3会場】2F 126 講義室

《午前の部》

セッション4（9：50～10：40）

座長（調整中）

1. ArcCHECK を用いた線量分布検証における High density モードの有用性の検討
東京医科大学 茨城医療センター 放射線部 松本 大吉
2. 茨城県内放射線治療施設における独立した Monitor Units 検証の現状調査
(株)日立製作所 日立総合病院 放射線技術科 鈴木 清剛
3. 前立腺癌の放射線治療における蓄尿時間の検討
(株)日立製作所 日立総合病院 放射線技術科 東 直輝
4. ^{89}Sr イメージングにおける画質改善を目指した基礎的検討
茨城県立医療大学 保健医療学部 放射線技術科 中島 修一
5. SBR 標準化によるダットスキャン診断能の検討
JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 放射線部 鬼澤 隆一

女性活躍推進班企画（11：20～12：00）

とりまとめ（山下 ひろみ）

- ・メイクのワンポイントレッスン
- ・パラフィンパックなど